

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



## 貴方の応募した名前が末永く残ります 「荒川複合施設」愛称募集中 (中央図書館・文学館・子供施設)

貴方の人生の記念に愛称名募集にチャレンジしてみませんか。現在の建設予定地周辺の区役所裏のサンパール通りは人通りもまばらですが、2年後、写真のような建物が完成すると1日2000人、年間約70万人近い来場者が予想されています。現在施設の最寄りの都電停留所「荒川2丁目」名に貴方の愛称も併せて付けられる事になるかもしれません。チャレンジ！！



## 11月18日締切・12月区民投票・2月発表 都電車内で貴方の愛称名が呼ばれるかも？

記入する項目は7か所 愛称名 ふりがな 愛称を付けた理由 名前  
ふりがな 住所 電話番号 用紙・持参場所・FAX等詳細は「荒川区報10月18日号」「荒川区ホームページ」等で確認。 一人1点。家族が3人いれば3点。  
賞品等、問合せ 3802-3111 内線2256 愛称名募集係

## 応募用紙は汐入図書SS・駅前区民事務所にも有り 施設内カフェテリア事業者募集

施設ではカフェテリアを設ける為11月上旬に公募を開始します。面積は150平米。契約は5年間。詳細は愛称名募集担当まで。

# 区議会議員選挙 27年4月26日投票決定

10月10日。内閣は来春の統一地方選挙の日程を決定しました。それによると、区議会議員選挙の日程は4月19日(日)告示、**26日(日)**投票となります。荒川区では現在、定数32名の所34名位の立候補が見込まれていますが今後も増加の可能性あります。

## セメントサイロ解体始まる、来春3月更地に

10月に入りセメントサイロ周辺で白いフェンスが設置され、重機が搬入しました。11月頃から解体が本格的に始まり来春3月頃までに更地の予定となります。長くこの町に住んでいる人にとっては感慨深いものがあるのではないのでしょうか。いずれホームセンターの絵を掲載いたしますが、かなり大きい建物になりそうです。写真を撮る方は今のうちに納めてください。



## 参加しよう 10・11月地域の行事

### 隅田川貨物駅フェスティバル 2014

開催日時は 2014年10月26日(日) 10:00  
~ 15:00 (最終入場は 14:30) 開催場所は隅田川駅。  
機関車 (EH500・EF64・HD300 など)・貨車・コンテナ  
の展示、鉄道部品の販売・入札、産地直送野菜の販売、  
子ども運転士制服の貸出などを実施。



### 火災予防フェア IN ベルポート汐入

日時 11月15日【土】  
AM9時30分~11時30分  
はしご車乗車体験  
煙体験ハウス

### あらかわ福祉まつり

日時 11月15日【土】  
AM10時~15時  
会場 荒川総合スポーツセンター  
掘り出し物多数  
ミニ介護フェア

# ドノウ通り周辺の交通対策整備 決算委員会【9月議会】で質問

10月15日、31日間の日程で行われていた荒川区議会9月会議が終了しました。この会議の中で私は地域の課題として、汐入地域から南千住駅周辺の交通対策の課題について質問を行いました。現在、ララテラスで買い物をする方は三井不動産の集計によると1年間に480万人位。課題は自転車と歩行者の分離帯の徹底がされていません。つまり、マナーの悪さが常態化しています。従前から関係者に申し入れをしていますが治らない状況です。



## ホームセンター開業で来客年間700万人超

2年後、28年にホームセンターが開業すると、ララテラスと合わせて700万人位の買い物客が予測され、セメントサイロ側の交通量も増加します。第1の課題として自動車増加に伴う渋滞問題です。ララテラス内麒麟堂薬局前の信号機周辺で考えら



れる事は、現在でも土・日には汐入側からララテラスに右折するレーンが混雑している上に、更に左折するホームセンターの買い物客と駅へ向かうバスなどのレーンが1本なので車両の渋滞。次に、自転車と歩行者についていえば土・日はホームセンター入り口付近での自動車と駅へ行く自転車と歩行者の人達の混雑が考えられます。

## 徹底した自転車と歩行者通路の分離帯を！

現在のララテラス周辺混雑は、自転車と歩行者の分離帯の徹底がされていません。歩道上の分離のペイントだけでなく、上部にも分離帯をはっきり表示【写真右】、歩道上にもカラーコーン等の設置など様々な方法で歩きやすい、走りやすい自転車道・歩行者道の確保を目指すべきと提案しました。



# 地域の歴史 5 1

## 名称「水神大橋」歴史の由来

隅田川にかかる23番目の「水神大橋」。現在は汐入と墨田区を繋ぐと同時に首都高速の出入口として利用者にとっては重要な橋として利用されています。橋の名称にはほとんどがその両側の土地の由来を考慮して採用するのが一般的です。「水神大橋」については、江戸時代から明治の頃まで「水神の渡し」として3丁目石浜神社と隅田川神社との間を渡し船が通っていた事からの名称と考えられます。右中の写真は明治40年頃の現、隅田川神社の前身で、現在地から白髭橋寄り南、約100mの所に鎮座していました。この一帯は古来より明治の頃まで、「水神の森」とも称されていて、鬱蒼とした樹木に覆われていました。神社は川からの鳥居からも参拝できる



明治の頃の水神の森と隅田川神社

ような独特の構造になっていて潮が満ちてくると鳥居近くまで水位が上がってくるので別名「浮島神社」とも言われて、船乗りの目印になっていました。

### 3丁目石浜神社から描く広重「水神の森」

浮世絵師「広重」は汐入を始め風光明媚な隅田川周辺の景色を数多く浮世絵に残しています。写真右の浮世絵は【名所江戸百景・隅田川水神の森真崎】のタイトルで南千住3丁目の真先稻荷【石浜神社】から水神の森を描いています。当時の人々は此处から浅草にあった浅草寺の参拝や歌舞伎見物、吉原遊郭への遊行。向島料亭街等多くの人々が行き来したのではないのでしょうか。

